



建築用シート防水材料のメーカー団体

KRK (合成高分子ルーフィング工業会) <https://www.krkroof.net/>

〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町9-2 日新中央ビル3F

TEL.03-6206-2928 FAX.03-6661-9034 E-mail: krkroof@krkroof.net



K R K 会 員

アーキヤマデ株式会社	〒564-0053 大阪府吹田市江の木町24-10 TEL.06-6385-1265 https://www.a-yamade.co.jp/
三晃金属工業株式会社	〒108-0023 東京都港区芝浦4-13-23 MS芝浦ビル TEL.03-5446-5606 https://www.sankometal.co.jp/
シバタ工業株式会社	〒674-0082 兵庫県明石市魚住町中尾1058 TEL.078-946-1515 https://www.sbt.co.jp/
住ベシート防水株式会社	〒140-0002 東京都品川区東品川2-5-8 天王洲パークサイドビル TEL.03-5462-8960 https://www.sunloid-dn.jp/
田島ルーフィング株式会社	〒101-8579 東京都千代田区外神田4-14-1 秋葉原UDX21階 TEL.03-6837-8888 https://www.tajima.jp/
ニッタ化工品株式会社	〒556-0022 大阪府大阪市浪速区桜川4-4-26 TEL.06-6563-1206 https://www.nitta-roofing.com/
パーカーアサヒ株式会社	〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-22-1 パーカーコーポビル1階 TEL.03-5614-9395 http://www.parker-asahi.co.jp/
ハセガワシート株式会社	〒276-0022 千葉県八千代市上高野1384-5 TEL.047-411-5014 https://www.sanAsheet.com
早川ゴム株式会社	〒721-8540 広島県福山市箕島町南丘5351 TEL.084-954-7801 https://www.santac.or.jp/
三ツ星ベルト株式会社	〒653-0024 兵庫県神戸市長田区浜添通4-1-21 TEL.078-685-5771 https://www.mitsuboshi.com/
ロンシール工業株式会社	〒130-8570 東京都墨田区緑4-15-3 TEL.03-5600-1866 https://www.lonseal.co.jp/

賛 助 会 員

アキレス株式会社 …… 03-5338-9544	タキロンマテックス株式会社 …… 03-5781-8150
垂細垂工業株式会社 …… 03-3895-4041	日本パワーファスニング株式会社 …… 06-6442-0059
株式会社カネカ …… 03-5574-8070	フィッシャージャパン株式会社 …… 03-3263-4491
株式会社JSP …… 03-6212-6362	株式会社ベルテック …… 06-6651-9194
株式会社シュナイダー・ジャパン …… 03-3537-3355	峰岸株式会社 …… 03-3274-1726
ソトウ株式会社 …… 045-322-0720	株式会社山装 …… 045-781-7821
倉敷紡績株式会社 …… 06-6266-5279	株式会社ライスター・テクノロジーズ …… 045-477-3637

KRK 2023

合成高分子ルーフィング工業会 <https://www.krkroof.net/>

シート防水材料に関する情報誌 vol.18



1 ごあいさつ	4 公共建築工事標準仕様書
1 KRKの概要	5 シート防水施工事例
2 KRKの活動	10 トピックス
3 シート防水の特長	13 シート防水に関する情報発信
3 シート防水材料の紹介	14 各種マニュアル改訂のお知らせ
4 シート防水工法の紹介	15 KRK会員名簿



ごあいさつ

合成高分子ルーフィング工業会会長

小山 利明

KRKは設立から50年以上の歴史を有し、シート防水だけでなく防水業界全体の品質と耐久性向上に寄与し続けております。特に防水層の耐久性向上や建築学会はじめJWMAへのノウハウ共有に先達の学会やゼネコン等の先生方と共に注力して参りました。

ご承知の如く、シート防水が国内で初めて採用されたのは、昭和26年に桜木町駅構内で大勢の死傷者を出した車両火災事故をうけて旧国鉄が昭和27年に塩化ビニル樹脂系シートを車両屋根防水に採用したのが始まりです。

その後、諸先輩方の努力の結果、平成2年には概ね3,000万㎡まで拡大いたしました。

今後の課題としては施工技能員不足や高齢化対策として工法仕様の簡略化や機械化の普及改善が急務です。更には少子高齢化を背景に次世代から将来にわたり防水全般のノウハウ

伝承が不可欠となります。加えて、地球温暖化対策の一助としてシート防水業界が出来る取り組みや持続可能な施策対応にも注力が必要です。現在、国内外とも新型コロナの5類移行や世界経済の安定化など日常生活を取り戻しつつありますが、ロシアのウクライナ侵攻、それに伴う原材料・エネルギー資源・食料の高騰など予断を許しません。

KRKは設立50周年を通過点として100周年を目指し、JWMAの中でも実績と活動内容を更に率先垂範していきます。会員・賛助会員各社の相互交流を活性化させて世の中から必要とされる団体であり続けることを目指し活動を継続します。今後とも関係各位の皆様からご指導ご鞭撻を賜りたくお願い申し上げます。



KRKの活動

KRKは関係各方面のご支援を賜り、活発な活動を展開しています。

官公庁への協力

- 公共建築工事標準仕様書及び公共建築改修工事標準仕様書改定、建築工事監理指針及び建築改修工事監理指針改定への協力

日本建築学会における活動

KRKは日本建築学会活動にも積極的に取り組んでいます。

- JASS8改定作業への協力
- 2022年日本建築学会WG活動
 - ・ 防水材料の長期耐久性評価試験方法小委員会
 - ・ 地下外壁外防水仕様評価小委員会
 - ・ 既存防水層耐風性能評価研究WG
- 2022年度日本建築学会北海道大会への参加(オンライン開催)



テーマ：EVA系シート防水層の早期防水施工が下地コンクリートの品質に与える効果(その1~3)

JWMAへの対応

日本防水材料協会(JWMA)の様々な活動に参画しています。

- 環境対応委員会
- 広報統計委員会
- 運営委員会
- 木造防水WG
- 人材育成委員会
- 各種講習会への参画
- 防水材技術アドバイザー
- JWMA第6期若手勉強会認定委員会
- FEM勉強会
- 技術委員会

KRK会員向け研修会

- 2022年度研修会(於:東京、大阪)
 - テーマ：シート防水とSDGsについて
 - JASS8並びに標仕・改修標仕の改定
 - シート防水マニュアル(金属下地断熱機械的固定工法)改訂版のご紹介
 - 賛助会員会社製品紹介：倉敷紡績株式会社

KRKの概要

KRKの歴史と実績

KRKはシート防水の品質向上と施工技術の標準化に積極的に取り組んでいます。

歴史

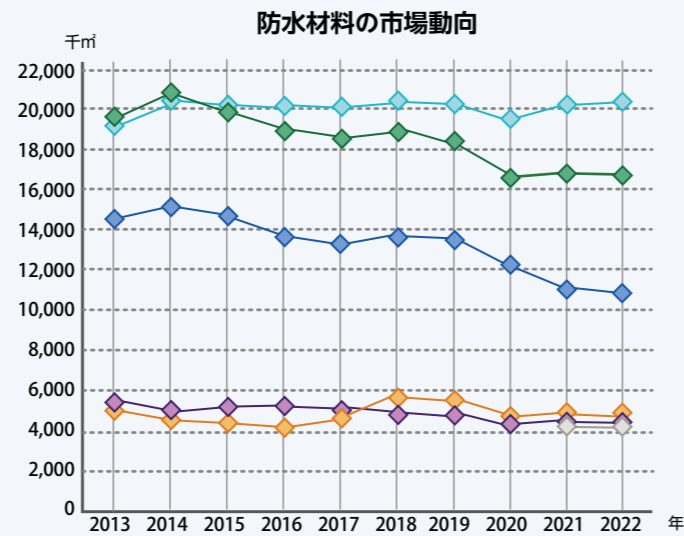
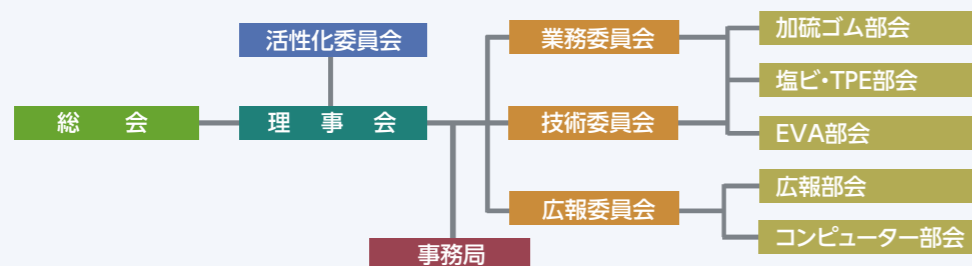
KRKは1970年にシート防水材料のJIS規格制定を契機に設立された「合成高分子ルーフィング懇話会」を母体として1978年現在の工業会組織に改組し、53年の歴史を歩んでまいりました。JIS規格の改正、公共建築工事標準仕様書の改定、日本建築学会の研究活動参画など幅広く活動してまいりました。

実績

KRKは製品や工法の革新にむけ、常に意欲的に取り組んで来ました。建築業界を取り巻く激しい環境の変動にも柔軟に対応し、新築工事だけでなく改修需要への対応や新しい仕様の開発、施工技術の平準化等に取り組んでいます。

KRKの構成

KRKは防水シートの優良メーカーで構成されており、組織は以下の通りです。



◆ 合成高分子系シート防水 (KRK)	16,822千㎡
◆ アスファルト系防水 (熱工法、常温工法)	11,478千㎡
◆ ウレタンゴム系塗膜防水 (NUK)	20,776千㎡
◆ FRP系塗膜防水 (FBK)	4,282千㎡
◆ 改質アスファルトシート防水 (トーチ工法)	4,535千㎡
◆ ケイ酸質系塗膜防水・ポリマーセメント系塗膜防水	4,203千㎡

出典：2022年 JWMA 統計

KRKの出版物

KRKはシート防水の品質向上のため、施工マニュアルやパンフレット、技術資料、仕様書、規格書など発刊物を作成しています

- KRK シート防水マニュアル(2023年改訂)
- シート防水マニュアル(金属下地断熱機械的固定工法)(2022年改訂)
- エチレン酢酸ビニル樹脂(EVA)系シート防水マニュアル(2021年改訂)
- 塩化ビニル樹脂系シート防水マニュアル(2023年改訂)
- 塩化ビニル樹脂系シート防水改修マニュアル(2020年改訂)
- 加硫ゴム系シート防水マニュアル(2016年改訂)
- 加硫ゴム系シート防水改修マニュアル(2022年改訂)
- 金属下地シート防水改修マニュアル(2022年改訂)
- シート防水による金属屋根の改修(2013年作成)
- 高反射率防水シート KRK規格
- KRK合成高分子ルーフィング工業会 50年の記録
- KRK情報誌(2006-2022)
- シート防水Q&A
- 加硫ゴム系シート防水(2018年改訂)
- 塩ビ・TPE シート防水(2018年改訂)
- EVA 系シート防水(2018年改訂)
- 防水層の維持管理上のごお願い(2022年改訂)



● マニュアル ● 規格 ● その他 ● パンフレット

[賛助会員広告]

シート防水の特長

シート防水材の特長を上手く生かすことで、信頼性の高い防水層を実現しています。

均質な防水層を形成します
品質管理された工場において、シート状に製造されているため、物性・寸法(厚さ・幅・長さ)などのばらつきが少なく、均質な防水層を形成します。

耐久性に優れています
使用している材料は、耐候性・耐水性・耐熱性等に優れるため、露出でも優れた耐久性を発揮します。

下地の挙動に追従します
伸び率に優れ、下地の挙動に追従します。

工期短縮OK
防水シート
原上等
工程が少なく、工期短縮が図れます
シート防水はシングルプライ(一層防水)のため、工程が少なく、工期短縮が図れるほか、工程管理が容易になります。

かぶせ工法が可能
改修工事の際、既存防水層を撤去せず、新規シートをかぶせて施工できます。

土木工事にも採用されています
処分場、貯水池、用水路などの遮水・防水工事に採用されています。

シート防水材の紹介

加硫ゴム系シート

- 低温、高温の広い温度範囲にわたって安定している。
- 多様な下地に適用し、改修工事にも適している。
- 引張強さ、伸び特性が大きく、下地亀裂追従性、繰返し伸縮などに優れている。

塩化ビニル樹脂(PVC)系シート

- ルーフィングシート相互は熱融着あるいは溶剤溶着で接合でき、一体化する。
- 耐圧縮性、耐摩耗性に優れているため、軽歩行ができる。
- 防水層は自己消火性を有しており、延焼しにくい。

エチレン酢酸ビニル樹脂(EVA)系シート

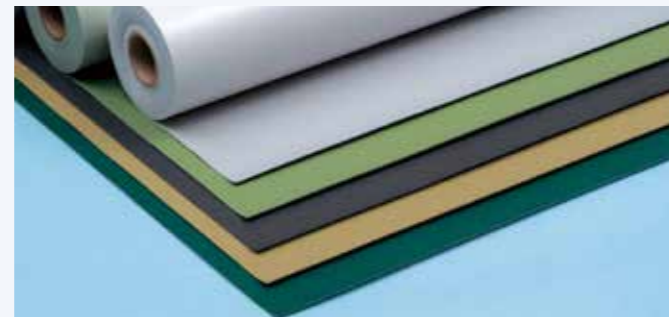
- 可塑剤を含有しない、もともと柔軟な素材である。
- 引張強さ、引裂き強さ、伸び特性が非常に大きく、下地亀裂追従性や繰返し伸縮などに優れている。
- コンクリートやモルタル等と強固に密着する。
- 防水層端末部に押え金物を使用しない。

非加硫ゴム系シート

- シート防水層自体の収縮する力が弱く、浮きや接合部のズレなどが発生しにくい。
- ルーフィングシート相互の接着接合性が良好で一体化する。
- ルーフィングシート自体が柔軟で、複雑な形状の下地になじみやすい。

熱可塑性エラストマー(TPE)系シート

- ルーフィングシート相互は熱融着で接合でき、一体化する。
- ハロゲン、可塑剤類を含まないので、物性変化が少なく環境汚染や人体への影響が少ない。



[賛助会員広告]

kaneka カガクでネガイをカナエル会社

カネライトフォーム FX

JIS A 9521 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bD

熱伝導率 **0.022** W/(m·K)

建材トップランナー制度対象製品
(区分名: 押出法ポリスチレンフォーム断熱材)
2030年度目標標準値 熱伝導率 0.03036 W/(m·K)

株式会社 **カネカ** Foams & Residential Tech Solutions Vehicle
株式会社 **カネカケンテック株式会社** 営業本部 住環境営業部
東日本営業課 〒112-0004 東京都文京区後楽 1-1-7 FAX.03(3830)2370

aerosmith エアロスミス

安全打込み設計
打込み反動が少なく、連続使用でも負担が少ない **安打**

早くて静か
静かで施工が瞬間で完了するため、作業音は継続しません **静確**

瞬時に作業が完了
約60本の連続施工が可能 **速工**

株式会社 **シュナイダー・ジャパン**

〒104-0033 東京都中央区新川 2-1-7
TEL 03-3537-3355 FAX 03-5566-1170
E-mail tsc@schneider.co.jp
URL http://www.schneider.co.jp/

シート防水工法の紹介

接着工法

- 加硫ゴム系
- 塩化ビニル樹脂系

ルーフィングシートを接着剤を使用して下地に張り付ける工法で、シート防水の初期の頃から採用されているベーシックな仕様です。下地に全面的に接着されていますので、耐風性に優れ、作業性もよく大面積を比較的短時間に施工できます。下地の乾燥など下地条件に注意が必要です。



機械的固定工法

- 加硫ゴム系
- 塩化ビニル樹脂系
- 熱可塑性エラストマー系

ルーフィングシートを固定金具を用いて下地に固定する工法です。接着剤を使用しないので接着に必要な要素が除外されるため、改修工事や下地条件の厳しい場所などに採用されています。建築基準法に基づき定められた風圧力計算により耐風圧性に配慮した固定金具の設置が必要です。



密着工法

- エチレン酢酸ビニル樹脂系

ルーフィングシートをポリマーセメントペースト等を用いて下地に密着させる工法です。ルーフィングシートと下地との間に密にポリマーセメントペーストが介在することで、水の通り道を作りません。下地の乾燥が不要で保護層を薄く仕上げたい室内防水や地下防水、屋上防水に最適です。



公共建築工事標準仕様書(令和4年版)

工法	接着工法				機械的固定工法			
	S-F1		S-F2		S-M1		S-M2	
種別	材料・工法	使用量(kg/m ²)	材料・工法	使用量(kg/m ²)	材料・工法	使用量(kg/m ²)	材料・工法	使用量(kg/m ²)
1	プライマー塗り	0.2 (0.3) (注1)	(プライマー塗り)	(0.3) (注1)	-	-	-	-
2	接着剤塗布	0.4 (注2)	接着剤塗布	0.4	-	-	-	-
3	加硫ゴム系ルーフィングシート(1.2mm)張付け	-	塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート(1.5mm)張付け	-	加硫ゴム系ルーフィングシート(1.5mm)の固定金具による固定	-	塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート(1.5mm)の固定金具による固定	-
4	仕上塗料塗り(注4)	-	-	-	仕上塗料塗り(注4)	-	-	-

- (注)
1. ALCパネル下地の場合は、工程1のプライマー使用量を()内とする。
 2. S-F1で粘着層付又は接着剤付加硫ゴム系ルーフィングシートを使用する場合は、工程2の接着剤の使用量は製造所の仕様による。
 3. S-F2及びS-M2で特記により軽歩行仕様とする場合は、ルーフィングシートの厚みは2.0mmとする。
 4. S-F1及びS-M1の場合、仕上塗料の種類及び使用量は、特記による。特記がなければ、非歩行仕様とし、使用量は、ルーフィングシートの製造所の仕様による。

工法	接着工法				機械的固定工法			
	SI-F1		SI-F2		SI-M1		SI-M2	
種別	材料・工法	使用量(kg/m ²)	材料・工法	使用量(kg/m ²)	材料・工法	使用量(kg/m ²)	材料・工法	使用量(kg/m ²)
1	プライマー塗り	0.2 (0.3) (注1)	(プライマー塗り)	(0.3) (注1)	-	-	-	-
2	接着剤/断熱材	-	接着剤/断熱材	-	断熱材(注2)	-	断熱材(注2)	-
3	接着剤塗布	0.4 (注6)	接着剤塗布	0.4	-	-	可塑性移行防止用シート敷設(注5)	-
4	加硫ゴム系ルーフィングシート(1.2mm)張付け	-	塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート(1.5mm)張付け	-	加硫ゴム系ルーフィングシート(1.5mm)の固定金具による固定	-	塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート(1.5mm)の固定金具による固定	-
5	仕上塗料塗り(注7)	-	-	-	仕上塗料塗り(注7)	-	-	-

- (注)
1. ALCパネル下地の場合は、工程1のプライマー使用量を()内とする。
 2. SI-M1及びSI-M2の場合、防湿用フィルムの設置は特記による。
 3. 工程2の断熱材張付けに用いる接着剤の使用量は、ルーフィングシートの製造所の仕様による。
 4. 断熱材は、立上り際でルーフィングシートの製造所の仕様により固定する。
 5. SI-M2で断熱材が硬質ウレタンフォーム断熱材を用いる場合は、工程3を行わない。
 6. SI-F1の場合で粘着層付又は接着剤付加硫ゴム系ルーフィングシートを使用する場合は、工程3の接着剤使用量は、製造所の仕様による。
 7. 仕上塗料の種類及び使用量は、特記による。特記がなければ、使用量はルーフィングシートの製造所の仕様による。

工法	屋内保護密着工法	
種別	S-C1 (注1)	
工程	材料・工法	使用量(kg/m ²)
1	プライマー塗り	0.3
2	接着剤(ポリマーセメントペースト)塗布	3.0
3	エチレン酢酸ビニル樹脂系ルーフィングシート(1.0mm)張付け	-
4	保護モルタル塗り(注2)	-

- (注)
1. S-C1については、屋内防水に適用する。
 2. 工程4の保護モルタル塗布は、特記による。

シート防水施工事例

伊東市民体育センター
加硫ゴム系シート防水接着工法（金属下地）



山梨県立富士河口湖高校
加硫ゴム系シート防水接着工法（金属下地）



阿南市立阿南第二中学校
加硫ゴム系シート防水脱気接着工法（保護コンクリート下地）



三田市立すすかけ台小学校
塩化ビニル樹脂系シート防水機械的固定工法（コンクリート下地）



横浜マリントワー
塩化ビニル樹脂系シート防水機械的固定工法（コンクリート下地）



JR 上野駅
塩化ビニル樹脂系シート防水機械的固定工法（コンクリート下地）



[賛助会員広告]

機能性素材
「クレネット®」

- 効率的に強度発現
- 母材同士が強固に接着
- 機能性付与も可能

KURABO 環境マテリアル部 機能資材課 TEL: 06-6266-5279

漏水被害に備える

タキロンシーアイグループ

軽量パネル止水板 **フラッドセーフライト**

お問い合わせ — タキロンマテックス株式会社 東京支店 03-5781-8150

南柏天然温泉 すみれ
浴室防水 エチレン酢酸ビニル樹脂系シート防水保護仕様（コンクリート下地）



月島食品
塩化ビニル樹脂系シート防水機械的固定工法（コンクリート下地）





株式会社マルホン 福岡ショールーム
塩化ビニル樹脂系シート防水接着断熱工法（木下地）



撮影 水崎浩志

合成高分子系シート防水の 維持管理について

合成高分子系シート防水をご採用頂いた際の使用上の注意事項及び維持管理についてお知らせ致します。

1. 使用上の注意事項について

屋上の使用については、保護層の有無や防水仕様により、歩行、軽歩行、非歩行の区分があります。

それぞれの区分に応じて使用上の注意事項を遵守してご利用くださいますようお願い致します。ご採用いただきました仕様につきましては設計図書、防水材料製造業者カタログ、保証書等の記載事項をご確認ください。

(1) 歩行の頻度による区分

【歩行】

不特定多数の人が利用するような頻度の高い歩行を表します。一般的に履物等の制約はなく、防水層の上にコンクリート等による保護層を設ける仕様を採用されます。

【軽歩行】

露出防水工法で紙のない革底、ゴム底等の靴、スリッパ等によって特定の人が利用する歩行を表します。

【非歩行】

露出防水工法で維持管理上必要な設備点検作業等極めて頻度の低い歩行を表します。

(2) 歩行頻度の区分による注意事項

【歩行仕様】

歩行仕様については、以下の点にご注意をお願い致します。

- 保護層の上に、油・酸等の腐食性の液体や化学的浸食物、クーリングタワー用アルカリ防藻剤等の薬品、ガソリン、塗料、有機溶剤等をこぼさないでください。保護層の目地等より浸透して、防水層を変色、膨潤、劣化等をさせて防水機能を損なう恐れがあります。
- 保護層上に、設備機器等を設置する場合には固定用の釘やアンカー等で保護層を貫通して防水層を損傷させる恐れがあるので、保護層の構造、厚さ、積載荷重を考慮して設置してください。
- 屋上やその周辺の増改築を行う場合は、防水層を損傷させたり、雨水の流れが変化し漏水に繋がる恐れがあるので、事前に元請業者に連絡し十分な検討を行ってください。
- 設計時に予定した以外の用途に使用目的を変更する場合、防水層に損傷を与える恐れがあるため、元請業者にご連絡ください。
- 植栽仕様でない場合、植栽は行わないでください。排水口を詰まらせたり、植物の根によって防水層を損傷させる場合があります。引渡し後に植栽をご希望の際には元請業者にご相談ください。
- 保護コンクリートに設置された伸縮目地材が経年により飛び出している場合がありますので、踏かないよう注意してください。



露出防水層の点検

【軽歩行・非歩行仕様共通】

軽歩行及び非歩行仕様については、以下の点にご注意をお願い致します。

- 防水層を傷つける恐れのないゴム底の靴等柔らかい履物をご使用ください。
- 防水層の表面が濡れている場合、滑りやすいので注意して歩行してください。足を滑らせて転倒・負傷する恐れがあります。
- 防水層の接合部には段差がある場合があるので、踏かないよう注意して歩行してください。
- 走ったり跳んだりしないでください。防水層を傷つける恐れがあります。
- 防水層の上またはその付近で花火や焚き火、タバコの投げ捨て等は行わないでください。防水層を変質させたり、燃焼させる恐れがあります。
- 防水層の上に、油・酸等の腐食性の液体や化学的浸食物、クーリングタワー用防藻剤等の薬品、ガソリン、塗料、有機溶剤等をこぼさないでください。また、防水層上のダクトや煙突から油煙の混じった排気のないようにしてください。防水層を変色、膨潤、劣化等をさせ、防水機能を損なう恐れがあります。
- 防水層の上に、設計時に予定していた以外の重量物や鋭利な物、振動物や恒久的な物は置かないでください。重量物等による変形や損傷の恐れがあります。
- 次の行為は防水層を傷つけ漏水の原因となりますので行わないでください。
 - スパイクシューズ、ハイヒール、雪靴等突起物のある履物での歩行
 - 刃物で傷つけること
 - ゴルフの練習、ハンマーやスコップ等で強い衝撃を与えること
 - 自転車や一輪車の運転をすること
 - 清掃や雪下ろしを行う際に、鋭利な道具を使用すること
 - 重量物を落下させたり引きずること
 - 金属製デッキブラシ等でこすること

- 防水層上では動物の飼育をしないでください。動物が爪や歯で防水層を傷付けたり、排泄物により防水層を変色させる場合があります。
- 植栽仕様でない場合、防水層上での植栽は行わないでください。排水口を詰まらせたり植物の根によって防水層を損傷させる場合があります。引渡し後の植栽をご希望の際は元請業者にご相談ください。
- 錆を発生させる物、腐食・腐敗する物、高温になる物を置かないでください。
- 防水層の上で作業をする場合は、合板やブルーシート等で養生してください。カッターナイフ等の使用は防水層に損傷を与える恐れがあります。
- 防水層上に避雷針・アンテナ・空調機器等を設置する場合は下敷き材等養生材上に設置してください。また防水層を貫通する固定部材は使用しないでください。

【軽歩行仕様】

- 軽歩行仕様の利用はベランダ・物干し場・休憩場に限りです。不特定多数の方が歩行する用途には適しません。

【非歩行仕様】

- 非歩行仕様の場合、屋上または防水層の維持管理・点検以外の時は防水層上を歩かないでください。特に断熱仕様の場合は歩行時に偏荷重とならないよう、また、強い衝撃を与えないようご注意ください。

【その他】

防水材料や工法の特性により注意が必要な項目がありますので、詳細については防水材料製造業者のカタログまたは防水保証書関係書類に記載された事項にご確認ください。

2. 維持管理上のお願い

合成高分子系シート防水の機能を長期にわたり維持するためには、前述の使用上のご注意を遵守頂いたうえで、次の事項に従って維持管理を実施してください。

点検時に異常を発見した場合及び漏水が発生した場合は、直ちに元請業者へご連絡ください。異常の発生を連絡せず放置した場合は保証の対象外となることがありますのでご注意ください。

なお、詳細な情報は防水材料製造業者のカタログまたは防水保証書関係書類にてご確認ください。

(1) 点検に関する事項

- 年2回程度、定期的に防水層の状態を点検し、異常が認められた場合は元請業者へ連絡し補修工事を行ってください。
- 防水層の接合部が剥離していないか

- 仕上塗料が剥離していないか、またはすり減って防水層が表面に出ているか
- 防水層が破れたり、防水層に穴があいていないか
- 防水層に膨れている部分がないか
- 保護モルタル（保護層）に盛り上がりや欠損がないか
- 防水末端部の押え金物、笠木等の取り付けがゆるんでいないか
- 防水シートを張付けたパイプや手すりが錆びていないか

- 外壁及びパラペット天端や笠木部、手摺基礎や架台類、貫通役物やトプライトなどには防水が施されていないことがあります。防水層のない部分には別途、点検とメンテナンスを実施してください。
- 鳥の啄ばみ等鳥害が認められた場合、元請業者にご相談ください。

(2) メンテナンス（清掃等）に関する事項

- 定期的に屋上や防水層の清掃をしてください。特に排水溝、排水溝周辺や隅部の泥や落葉等を除去してください。オーバーフローによる漏水の原因となります。
- 防水層を洗浄する場合は、家庭用中性洗剤以外の薬品や熱湯は使用しないでください。酸・塩素系の洗剤は、防水層を変形・損傷させる恐れがあります。洗浄は柔らかい布やスポンジ、雑巾等を用いて行い、汚れと共に洗剤成分も十分に洗い流してください。洗浄後は十分に乾燥させてください。
- 防水シートの接合部がある場合には重なり合う上のシートから端末側の方向へ清掃してください。また、デッキブラシ等固いもので清掃しないでください。防水層に傷がつく恐れがあります。

(3) 塗装に関する事項

- 塗装の塗替えは、防水材料製造業者がカタログ等に記載している塗装材料を使用し推奨期間内に行ってください。
- 塗装の塗替えは元請業者にご依頼ください。塗替え作業は有償となります。
- 海岸地域や工業地帯等環境条件の厳しい場所では塗替えが必要となる時期が早まる場合があります。

3. 花粉や土埃等の堆積被膜について

花粉や土埃の多い季節にはシート防水上にこれらが降積り、降雨によって流され集積された後、乾燥によって被膜



写真-1. 排水口付近



写真-2. 水溜まり付近



写真-3. 水溜まり付近



写真-4. 固定金具付近

化した堆積物が薄く剥がれるという現象が生じることがあります。(写真-1・2・3・4)

この現象が生じる際に、防水シート上に付着した汚れ成分も併せて剥がれることがあり、元の綺麗な表面層が現れ、あたかも防水シート表面層が剥離しているかのように思われることがあります。

これらの現象はあくまでもシート防水上に堆積した降下物が乾燥により剥がれるもので、シート表面層が剥離しているものではありません。

塩化ビニル樹脂系シート防水や熱可塑性エラストマー系シート防水が施されている場合、防水シートの物性に影響を与えるものではありませんので、放置されても構わないのですが、見苦しいと感じる場合は以下の処置をお願い致します。

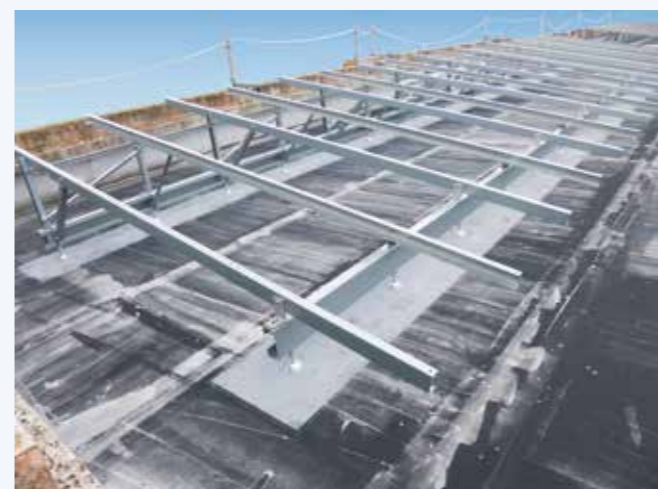


写真-5 太陽光発電設備の専用基礎による設置例

- (1) 堆積物は乾いた雑巾やスポンジなどで掃き集めて廃棄します。
- (2) 堆積物がこびりつき一部剥がれた状態の場合、散水により湿潤化した後、モップや箒などで軽く擦り落します。この場合、デッキブラシや金属ブラシのような硬いもので防水シートを擦らないでください。防水シートの表面層を傷つける恐れがあります。
- (3) 汚れが気になる場合は、家庭用中性洗剤を用いて布やスポンジ、雑巾など柔らかいもので洗浄します。洗浄後は汚れとともに洗剤成分も十分に洗い流してください。

加硫ゴム系シート防水が施されている場合、稀に堆積物が仕上塗料と一緒に剥がってしまう場合があります。仕上塗料は意匠性向上のために施されており、防水シートの物性上の問題はありません。

見苦しいと感じる場合は、元請業者または防水施工業者に連絡し塗装のタッチアップ補修を依頼してください。

また、降下物に対する処置は塩化ビニル樹脂系シート防水や熱可塑性エラストマー系シート防水と同様に行ってください。

4. 太陽光発電設備の設置について

太陽光発電等再生可能エネルギー設備を設置する場合、以下のことにご注意ください。(写真-5)

(1) 確実に固定してください

建物には風や地震その他の震動が加わります。太陽光発電モジュールを確実に固定しないと設備機器の動きにより防水層を傷付ける恐れがあります。

(2) 防水層に適した固定部材を使用してください

不用意に防水層に穴をあけると漏水の原因となります。



[賛助会員広告]

吸じんドリル
MSドリル
特許出願中

穿孔しながら粉じんを吸引

● 施工品質・現場環境の向上
● 作業中・近隣への健康配慮

峰岸株式会社 TEL:03-3274-1726

株式会社 山装 YAMASO

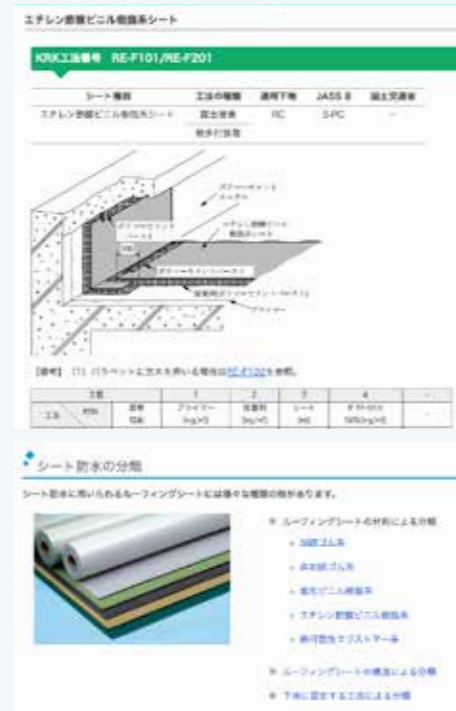
長年のノウハウを生かして、独自の高い技術力で防水資材製品を製造・販売しております。

● お問い合わせ先 ●
TEL:045-781-7821/FAX:045-781-7824

シート防水に関する情報発信

<https://krkroof.net/>

KRKのホームページを通じて、材料の品質向上、環境負荷低減など最新技術情報の発信を行っています。



各種マニュアル改訂のお知らせ

当工業会では各種マニュアルを発刊しています。内容はHPでご覧いただけます。また、「シート防水マニュアル」をご希望の方は、工業会までお問合せください。



KRK シート防水マニュアル
 合成高分子ルーフィング工業会編
 全190ページ / 2023.5改訂

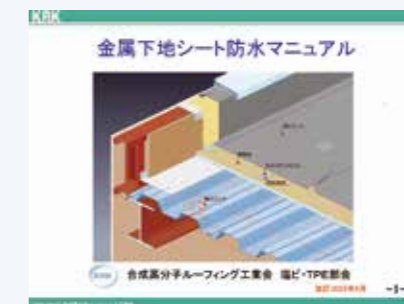
シート防水を広く深く理解していただくことを目的として1980年11月に発刊以来、改訂は今回で8回目となります。
 今回の主な改訂内容は、令和4年版「公共建築工事標準仕様書」(国土交通省)や2022年改定の「JASS 8 防水工事」(日本建築学会)等の改定内容の反映、また、2021年に施行された建築物省エネ法改正の内容、合成高分子系ルーフィングシート(JIS A 6008)や建築用断熱材(JIS A 9521)などのJIS改正、その他の最新の情報の追記・修正等を実施しました。



加硫ゴム系シート防水改修マニュアル

KRK 加硫ゴム部会編
 全61ページ / 2022.4改訂

同マニュアルでは、防水改修一連の流れとして、既存防水層の診断も含め、加硫ゴム系シート防水による改修工法に関するポイントをとりまとめています。



金属下地防水マニュアル

KRK 塩ビ・TPE 部会編
 全96ページ / 2022.4改訂

合成高分子系ルーフィングシート防水工法・金属下地断熱機械的固定仕様の標準化を計り確実な施工を行う目的で2008年に作成された内容に関連する法律やJISの改訂に伴った内容に見直しをしています。



塩化ビニル樹脂系シート防水マニュアル

KRK 技術委員会編
 全72ページ / 2023.8.1改訂

2022年JASS8防水工事の改訂に伴い、防水の種類は、メンブレン防水から面防水工事という名称に改められました。同マニュアルもJASS 8の区分に沿ったより分かりやすい内容に改訂しています。



仕様と施工

<https://www.krkroof.net/method/seko-index.html>
 各種仕様、各工法別施工手順や納まり図、施工例を掲載しています。



Q & A

<https://www.krkroof.net/qa/>
 耐風圧性能などよくご質問いただく事柄をまとめました。



技術資料

<https://www.krkroof.net/technical/>
 防水シートに関する規格や防水層の性能評価方法、諸性能、施工や補助材料、メンテナンス等を掲載しています。



出版物

<https://www.krkroof.net/publication/>
 当工業会の発行するマニュアルのご紹介やパンフレットPDFのダウンロードができます。
 ※当広報誌 2006 vol.1 ~ 2022 vol.17 もダウンロード可能です

● 表紙写真：小諸蒸留所



設計：株式会社SOGO建築設計
 施工：株式会社竹花組
 延床面積：3695㎡
 所在地：長野県小諸市
 構造：鉄骨造一部鉄筋コンクリート造
 防水仕様：塩化ビニル樹脂系シート防水接着工法

[賛助会員広告]

[賛助会員広告]

LEISTER

クラウド機能搭載
「新型自走機ユニルフ 700 型」

株式会社ライスター・テクノロジーズ
www.leister.com

fischer innovative solutions

フィッシャーデュオパワー **fischer DUOPOWER**
 パワーとインテリジェンスのデュオ

屋上設備基礎 革命!コンクリートから鋼製へ

工期短縮・軽量化工法
ベルベース
 株式会社ベルテック

限界を超越した断熱性能!!

高性能・新次世代型断熱材
ミラフォーム
 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 [JIS A 9521・XPS3aD]

熱伝導率 **0.022 W/m・K (23℃)**

株式会社 JSP 建築土木資材事業部 TEL.03-6212-6362